

にいがた県央マイスター Q&A

Q 1 にいがた県央マイスター制度の目的は何か。

三条地域振興局が平成 17 年度に創設した制度

県央地域の高度な産業技術を支える卓越した技術、技能を有する方をにいがた県央マイスターとして認定し、その社会的認知度を高めるとともに、優れた技術の継承や後継者の育成を図り、地域産業の振興に役立つことを目的としている。

Q 2 現在のにいがた県央マイスターは何名か。

令和元年度末までの認定者は、32 名（別紙 1 参照）

認定称号の部門別では以下のとおり

伝統的鍛冶技術	(8名)	研磨	(8名)	仏壇製作	(3名)
鎚起銅器	(2名)	鉋(かんな)台製造	(1名)	部品検査	(1名)
金属熱処理	(1名)	精密金属加工	(1名)	桐箆笥製造	(1名)
自動溶接	(1名)	手彫り彫金	(1名)	刃付け	(1名)
金属洋食器スプーン製造	(1名)	キセル製作	(1名)	へら絞り	(1名)

Q 3 にいがた県央マイスターの認定基準はどうなっているのか。

にいがた県央マイスターの認定は、次の要件を満たす者に対して行う。

- (1) 技術及び技能水準が県央地域で第一人者又はこれに比肩する者であること。
- (2) 技能検定がある職種については、一級（又は単一等級）以上の取得者、公的資格を有する職種は、資格取得者、公的資格等を有しない職種等については、第一人者かこれに比肩する者であることを客観的に証明可能な顕彰等の履歴を有していること。
- (3) 必要資質等
 - ア 県央地域において産業振興に貢献した者又は産業の発展に欠かせない者。
 - イ 県央マイスターの称号にふさわしい人格を有する者。
 - ウ 指導育成能力を有し、後進の育成指導が十分に期待できる者。
 - エ 当該職種に 20 年以上の従事経験を有し、かつ年齢は 40 歳以上の者で、県央地域に 5 年以上現に在住し、又は在勤する者。

Q4 にいがた県央マイスターはどのようにして決まるのか。

商工団体等からの推薦を得て申請のあった候補者について、「にいがた県央マイスター選考委員会」において審査を行い、推薦された者を三条地域振興局長がにいがた県央マイスターとして認定する。

なお、にいがた県央マイスター選考委員名簿は別紙2参照

Q5 にいがた県央マイスターはどんな活動をしているのか。

にいがた県央マイスターは、自身の有する技術、技能をもって、モノづくり基盤技術の継承・発展及び優れた人材確保・育成を図るために県央地域が必要とする社会活動等に取り組んでいる。

〔令和2年度の活動〕

講師として若手の職人を指導

事業名	内容
伝統的鍛冶技術継承事業 及び管理基礎講座 【主催】協同組合三条工業会	刃物等を製造する企業の従業員12名、金属加工を主業とする企業の従業員4名が、令和2年8月から令和3年3月までの日程で、包丁製造や研磨等の技術を磨く研修事業

マイスターの技術技能を体験してもらう「マイスター塾」を開催し、一般参加者を指導

コース名	実施日・会場名	参加者
基礎彫金体験コース 第132回「1枚の銅板からの靴ベラづくり」	R2.10.3 燕市産業史料館	4名
鋤起銅器体験コース 第135回・第136回「ぐい呑みづくり」	R2.10.17~18 燕市産業史料館	10名
伝統的鍛冶技術体験コース 第137回「アウトドアナイフづくり」	R2.10.18 三条鍛冶道場	4名



にいがた県央マイスター認定者

〔令和2年4月時点〕

NIIGATA KENOH MEISTER

氏名	住所	認定称号	認定日
相田 忠雄	三条市	伝統的鍛冶技術（鋳・鋤製造）	H17.11. 7（第1回）
池田 慶郎	三条市	伝統的鍛冶技術（のみ・打刃物製造）	H17.11. 7（第1回）
金川 司郎	三条市	鉋台製造	H17.11. 7（第1回）
川崎 勝司	燕市	部品検査技術	H17.11. 7（第1回）
古関 鐵男	燕市	バフ研磨（建築金物）	H17.11. 7（第1回）
小林 由夫	三条市	伝統的鍛冶技術（利器工匠具製造）	H17.11. 7（第1回）
田中 三男	燕市	バフ研磨（家電製品）	H17.11. 7（第1回）
土田 健美	三条市	金属熱処理技術	H17.11. 7（第1回）
林 正栄	燕市	精密金属加工技術（旋盤作業）	H17.11. 7（第1回）
番場 堅介	加茂市	桐箆筒製造	H17.11. 7（第1回）
細野 五郎	燕市	鋳起銅器製造	H17.11. 7（第1回）
相田 芳佐	三条市	自動溶接技術	H18.10.18（第2回）
大岩 信夫	燕市	手彫り彫金・彫刻	H18.10.18（第2回）
小林 鉄次	三条市	精密研削研磨	H18.10.18（第2回）
高橋 薫	三条市	バフ研磨（作業工具）	H18.10.18（第2回）
日野浦 司	三条市	伝統的鍛冶技術（鉋製造）	H18.10.18（第2回）
飯塚 時房	三条市	伝統的鍛冶技術（包丁製造）	H19.12.13（第3回）
井上 幸男	三条市	刃付け技術（作業工具）	H19.12.13（第3回）
斉藤 新一郎	燕市	金属洋食器スプーン製造	H19.12.13（第3回）
平 浩昭	燕市	バフ研磨（精密機械部品）	H21.12.15（第4回）
水野 勲	三条市	伝統的鍛冶技術（鉋製造）	H21.12.15（第4回）
高橋 千春	燕市	バフ研磨（大型部品）	H23. 2.28（第5回）
飯塚 昇	燕市	キセル製作	H24. 4.26（第6回）
時田 勇	燕市	へら絞り加工（手絞り）	H24.12.19（第7回）
石田 宣一	三条市	仏壇製作（木地部門）	H26. 1.30（第8回）
玉川 達士	燕市	鋳起銅器製造	H27. 1.30（第9回）
今井 道雄	燕市	金型研磨	H28. 1.30（第10回）
長谷川 美博	燕市	仏壇製作（木地部門）	H28. 1.30（第10回）
高橋 弥一	燕市	仏壇製作（漆塗箔押部門）	H30. 2. 5（第11回）
増田 健	三条市	伝統的鍛冶技術（切出小刀製造）	R 2. 2. 3（第12回）

名誉マイスター

大原 実	*H25逝去	燕市	バフ研磨（金属器物）	H17.11. 7（第1回）
坂井 源一	*R元逝去	三条市	伝統的鍛冶技術（鋳製造）	H17.11. 7（第1回）

※認定日順（認定日が同じ場合は、五十音順）

令和2年度 にいがた県央マイスター選考委員名簿

委嘱期間		令和2年8月1日～令和4年7月31日	
所 属 名	役 職	氏 名 (敬称略)	備 考
長岡技術科学大学	名 誉 教 授	新 原 皓 一	委員長 (H29～)
長岡技術科学大学	学 長	東 信 彦	(H27～)
長岡造形大学	学 長	馬 場 省 吾	副委員長 (H30～)
新潟大学	教 授	新 田 勇	(H29～)
長岡工業高等専門学校	校 長	原 田 信 弘	副委員長 (R2.4.1～)
日本放送協会 新潟放送局	技 術 部 長	大 野 広 伸	(R2.8.3～)
新潟日報社	専 務 取 締 役	高 橋 正 秀	(H17～)
三条信用金庫	地域経済研究所 常 勤 理 事	高 橋 敦	(R元～)
新潟県工業技術総合研究所 県央技術支援センター	セ ン タ ー 長	相 田 収 平	(R2.4.1～)
新潟県三条テクノスクール	校 長	川 村 忍	(R2.4.1～)